



平成31年3月15日

各 位

会 社 名 株式会社くろがね工作所
代表者名 取締役社長 神足 泰弘
(コード:7997、東証第2部)
問合せ先 専務取締役 神足 尚孝
(TEL. 06-6538-1010)

(訂正)「平成27年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成27年4月8日に開示いたしました「平成27年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成31年3月15日)付「過年度の決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には____を付して表示しております。

以上



(訂正後)

平成27年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月8日

上場会社名 株式会社くろがね工作所 上場取引所 東
 コード番号 7997 URL <http://www.kurogane-kks.co.jp>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)神足 泰弘
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)神足 尚孝 (TEL)06(6538)1010
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第1四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第1四半期	2,410	△0.1	41	15.6	26	29.2	36	73.6
26年11月期第1四半期	2,414	1.3	35	9.0	20	40.3	20	17.2

(注) 包括利益 27年11月期第1四半期 81百万円(—%) 26年11月期第1四半期 △17百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第1四半期	2 12	—
26年11月期第1四半期	1 22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第1四半期	12,189	4,105	33.6
26年11月期	11,430	4,025	35.1

(参考) 自己資本 27年11月期第1四半期 4,092百万円 26年11月期 4,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	—	—	0 00	0 00
27年11月期	—	—	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,750	4.3	150	7.6	115	16.1	95	25.4	5 58
通期	11,100	5.0	290	50.5	220	32.3	190	70.6	11 15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年11月期1Q	18,571,139株	26年11月期	18,571,139株
27年11月期1Q	1,531,964株	26年11月期	1,531,964株
27年11月期1Q	17,039,175株	26年11月期1Q	17,039,467株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が推進する経済政策や金融緩和政策により、輸出関連企業を主体とした企業収益が持ち直し、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率引き上げ後の個人消費の停滞感等もあり、依然として先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

このような経営環境下で当社グループは、オフィスのリニューアル物件や大型移転物件の開拓、高齢者福祉関連施設等積極的な提案セールスを推進するとともに、品質向上、コスト削減にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,410百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益は41百万円（前年同四半期比15.6%増）、経常利益は26百万円（前年同四半期比29.2%増）、四半期純利益は36百万円（前年同四半期比73.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(家具関連)

オフィス家具市場においては、オフィスの移転案件、オフィスのICT化を中心とした職場環境改善提案等積極的に営業展開を行いました。

家庭用家具市場においては、新商品「ナチュラル&カラー」シリーズを投入し、学習環境への新しい提案等営業展開を行いました。

その結果、家具関連の売上高は1,600百万円（前年同四半期比2.0%増）、セグメント利益（営業利益）は24百万円（前年同四半期比235.3%増）となりました。

(建築付帯設備機器)

建築付帯設備他部門においては、当社の主力商品である懸垂式引戸「アキュドユニット」につきましては、全国的に医療施設の老朽化に伴う建て替え案件、耐震化による改築・リニューアル案件等に積極的に営業展開を行いました。

クリーン機器他設備部門においては顧客ニーズに対応した生産体制をとり、需要拡大に対処すべく取り組んでまいりました。

その結果、建築付帯設備機器の売上高は810百万円（前年同四半期比4.1%減）、セグメント利益（営業利益）は78百万円（前年同四半期比15.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況について

(資産)

当第1四半期連結会計期間の総資産は12,189百万円となり、前連結会計年度末に比べて759百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が196百万円、受取手形及び売掛金が142百万円、たな卸資産が359百万円、投資有価証券が89百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間の負債は8,083百万円となり、前連結会計年度末に比べて678百万円増加いたしました。この主な要因は、長短借入金が455百万円、支払手形及び買掛金が148百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産は4,105百万円となり、前連結会計年度末に比べて80百万円増加いたしました。この主な要因は利益剰余金が36百万円、その他有価証券評価差額金が42百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、現時点では平成27年1月16日に公表しました業績予想からの変更はありません。

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、今後の経済情勢など様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,366,624	1,562,822
受取手形及び売掛金	1,805,865	1,948,834
商品及び製品	885,678	898,261
仕掛品	1,286,794	1,610,804
原材料及び貯蔵品	228,226	251,346
その他	83,988	93,533
貸倒引当金	△8,727	△9,748
流動資産合計	5,648,451	6,355,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,655,063	1,626,626
土地	2,375,281	2,375,281
その他(純額)	298,314	276,797
有形固定資産合計	4,328,659	4,278,705
無形固定資産	54,067	59,901
投資その他の資産		
投資有価証券	1,213,057	1,302,121
その他	199,073	206,013
貸倒引当金	△13,172	△13,172
投資その他の資産合計	1,398,959	1,494,962
固定資産合計	5,781,685	5,833,570
資産合計	11,430,136	12,189,425
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,986,315	2,134,788
短期借入金	1,350,900	1,540,000
1年内返済予定の長期借入金	1,029,620	1,101,887
未払法人税等	24,278	8,908
賞与引当金	—	31,749
その他	888,801	930,880
流動負債合計	5,279,915	5,748,214
固定負債		
長期借入金	1,124,746	1,319,072
リース債務	103,083	95,003
役員退職慰労引当金	10,438	10,438
退職給付に係る負債	352,223	360,196
再評価に係る繰延税金負債	411,890	411,890
その他	122,755	138,970
固定負債合計	2,125,137	2,335,570
負債合計	7,405,052	8,083,785

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998,456	2,998,456
利益剰余金	311,839	347,928
自己株式	△157,353	△157,353
株主資本合計	3,152,942	3,189,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,712	188,545
繰延ヘッジ損益	197	33
土地再評価差額金	714,477	714,477
その他の包括利益累計額合計	860,387	903,056
少数株主持分	11,754	13,552
純資産合計	4,025,083	4,105,639
負債純資産合計	11,430,136	12,189,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)
売上高	2,414,095	2,410,775
売上原価	1,878,679	1,855,213
売上総利益	535,415	555,562
販売費及び一般管理費	499,476	514,023
営業利益	35,939	41,538
営業外収益		
受取利息	44	53
受取配当金	4,770	5,208
持分法による投資利益	1,855	2,009
仕入割引	3,829	3,831
その他	811	824
営業外収益合計	11,312	11,926
営業外費用		
支払利息	19,710	16,158
支払手数料	2,895	6,921
その他	3,997	3,705
営業外費用合計	26,602	26,784
経常利益	20,649	26,680
特別利益		
投資有価証券売却益	7,180	16,970
特別利益合計	7,180	16,970
特別損失		
固定資産除却損	463	0
特別損失合計	463	0
税金等調整前四半期純利益	27,365	43,650
法人税、住民税及び事業税	5,511	5,020
法人税等調整額	△5	△7
法人税等合計	5,506	5,013
少数株主損益調整前四半期純利益	21,859	38,637
少数株主利益	1,073	2,547
四半期純利益	20,785	36,089

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,859	38,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,308	42,753
繰延ヘッジ損益	△999	△164
持分法適用会社に対する持分相当額	133	79
その他の包括利益合計	△39,174	42,668
四半期包括利益	△17,315	81,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,389	78,757
少数株主に係る四半期包括利益	1,073	2,547

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,568,565	845,530	2,414,095	—	2,414,095
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	1,568,565	845,530	2,414,095	—	2,414,095
セグメント利益	7,429	92,915	100,344	△64,404	35,939

(注) 1 セグメント利益の調整額△64,404千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>1,600,245</u>	810,530	<u>2,410,775</u>	—	<u>2,410,775</u>
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	<u>1,600,245</u>	810,530	<u>2,410,775</u>	—	<u>2,410,775</u>
セグメント利益	<u>24,913</u>	78,763	<u>103,676</u>	<u>△62,138</u>	<u>41,538</u>

(注) 1 セグメント利益の調整額△62,138千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



(訂正前)

平成27年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月8日

上場会社名 株式会社くろがね工作所 上場取引所 東
 コード番号 7997 URL <http://www.kurogane-kks.co.jp>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)神足 泰弘
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)神足 尚孝 (TEL)06(6538)1010
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第1四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第1四半期	2,423	0.4	47	33.4	33	60.2	42	102.3
26年11月期第1四半期	2,414	1.3	35	9.0	20	40.3	20	17.2

(注) 包括利益 27年11月期第1四半期 87百万円(—%) 26年11月期第1四半期 △17百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第1四半期	2 47	—
26年11月期第1四半期	1 22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第1四半期	12,204	4,117	33.6
26年11月期	11,437	4,030	35.1

(参考) 自己資本 27年11月期第1四半期 4,103百万円 26年11月期 4,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	—	—	0 00	0 00
27年11月期	—	—	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,750	4.3	150	7.6	115	16.1	95	25.4	5 58
通期	11,100	4.8	290	46.0	220	27.7	190	62.6	11 15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年11月期1Q	18,571,139株	26年11月期	18,571,139株
27年11月期1Q	1,531,964株	26年11月期	1,531,964株
27年11月期1Q	17,039,175株	26年11月期1Q	17,039,467株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が推進する経済政策や金融緩和政策により、輸出関連企業を主体とした企業収益が持ち直し、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率引き上げ後の個人消費の停滞感等もあり、依然として先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

このような経営環境下で当社グループは、オフィスのリニューアル物件や大型移転物件の開拓、高齢者福祉関連施設等積極的な提案セールスを推進するとともに、品質向上、コスト削減にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,423百万円（前年同四半期比0.4%増）、営業利益は47百万円（前年同四半期比33.4%増）、経常利益は33百万円（前年同四半期比60.2%増）、四半期純利益は42百万円（前年同四半期比102.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(家具関連)

オフィス家具市場においては、オフィスの移転案件、オフィスのICT化を中心とした職場環境改善提案等積極的に営業展開を行いました。

家庭用家具市場においては、新商品「ナチュラル&カラー」シリーズを投入し、学習環境への新しい提案等営業展開を行いました。

その結果、家具関連の売上高は1,612百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益（営業利益）は31百万円（前年同四半期比321.7%増）となりました。

(建築付帯設備機器)

建築付帯設備他部門においては、当社の主力商品である懸垂式引戸「アキュドアユニット」につきましては、全国的に医療施設の老朽化に伴う建て替え案件、耐震化による改築・リニューアル案件等に積極的に営業展開を行いました。

クリーン機器他設備部門においては顧客ニーズに対応した生産体制をとり、需要拡大に対処すべく取り組んでまいりました。

その結果、建築付帯設備機器の売上高は810百万円（前年同四半期比4.1%減）、セグメント利益（営業利益）は78百万円（前年同四半期比15.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況について

(資産)

当第1四半期連結会計期間の総資産は12,204百万円となり、前連結会計年度末に比べて766百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が196百万円、受取手形及び売掛金が156百万円、たな卸資産が353百万円、投資有価証券が89百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間の負債は8,087百万円となり、前連結会計年度末に比べて680百万円増加いたしました。この主な要因は、長短借入金が455百万円、支払手形及び買掛金が148百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産は4,117百万円となり、前連結会計年度末に比べて86百万円増加いたしました。この主な要因は利益剰余金が42百万円、その他有価証券評価差額金が42百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、現時点では平成27年1月16日に公表しました業績予想からの変更はありません。

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、今後の経済情勢など様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,366,624	1,562,822
受取手形及び売掛金	1,825,305	1,981,737
商品及び製品	885,678	898,261
仕掛品	1,274,794	1,592,757
原材料及び貯蔵品	228,226	251,346
その他	83,988	93,533
貸倒引当金	△8,727	△9,748
流動資産合計	5,655,891	6,370,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,655,063	1,626,626
土地	2,375,281	2,375,281
その他(純額)	298,314	276,797
有形固定資産合計	4,328,659	4,278,705
無形固定資産	54,067	59,901
投資その他の資産		
投資有価証券	1,213,057	1,302,121
その他	199,073	206,013
貸倒引当金	△13,172	△13,172
投資その他の資産合計	1,398,959	1,494,962
固定資産合計	5,781,685	5,833,570
資産合計	11,437,576	12,204,280
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,986,315	2,134,788
短期借入金	1,350,900	1,540,000
1年内返済予定の長期借入金	1,029,620	1,101,887
未払法人税等	24,794	9,873
賞与引当金	—	31,749
その他	890,241	933,318
流動負債合計	5,281,872	5,751,617
固定負債		
長期借入金	1,124,746	1,319,072
リース債務	103,083	95,003
役員退職慰労引当金	10,438	10,438
退職給付に係る負債	352,223	360,196
再評価に係る繰延税金負債	411,890	411,890
その他	122,755	138,970
固定負債合計	2,125,137	2,335,570
負債合計	7,407,009	8,087,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998,456	2,998,456
利益剰余金	<u>317,323</u>	<u>359,381</u>
自己株式	<u>△157,353</u>	<u>△157,353</u>
株主資本合計	<u>3,158,426</u>	<u>3,200,484</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,712	188,545
繰延ヘッジ損益	197	33
土地再評価差額金	714,477	714,477
その他の包括利益累計額合計	<u>860,387</u>	<u>903,056</u>
少数株主持分	11,754	13,552
純資産合計	<u>4,030,567</u>	<u>4,117,092</u>
負債純資産合計	<u>11,437,576</u>	<u>12,204,280</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)
売上高	2,414,095	2,423,241
売上原価	1,878,679	1,861,260
売上総利益	535,415	561,980
販売費及び一般管理費	499,476	514,049
営業利益	35,939	47,930
営業外収益		
受取利息	44	53
受取配当金	4,770	5,208
持分法による投資利益	1,855	2,009
仕入割引	3,829	3,831
その他	811	824
営業外収益合計	11,312	11,926
営業外費用		
支払利息	19,710	16,158
支払手数料	2,895	6,921
その他	3,997	3,705
営業外費用合計	26,602	26,784
経常利益	20,649	33,073
特別利益		
投資有価証券売却益	7,180	16,970
特別利益合計	7,180	16,970
特別損失		
固定資産除却損	463	0
特別損失合計	463	0
税金等調整前四半期純利益	27,365	50,043
法人税、住民税及び事業税	5,511	5,444
法人税等調整額	△5	△7
法人税等合計	5,506	5,437
少数株主損益調整前四半期純利益	21,859	44,605
少数株主利益	1,073	2,547
四半期純利益	20,785	42,058

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,859	44,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,308	42,753
繰延ヘッジ損益	△999	△164
持分法適用会社に対する持分相当額	133	79
その他の包括利益合計	△39,174	42,668
四半期包括利益	△17,315	87,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,389	84,726
少数株主に係る四半期包括利益	1,073	2,547

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,568,565	845,530	2,414,095	—	2,414,095
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	1,568,565	845,530	2,414,095	—	2,414,095
セグメント利益	7,429	92,915	100,344	△64,404	35,939

(注) 1 セグメント利益の調整額△64,404千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>1,612,710</u>	810,530	<u>2,423,241</u>	—	<u>2,423,241</u>
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	<u>1,612,710</u>	810,530	<u>2,423,241</u>	—	<u>2,423,241</u>
セグメント利益	<u>31,331</u>	78,763	<u>110,094</u>	<u>△62,163</u>	<u>47,930</u>

(注) 1 セグメント利益の調整額△62,163千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。